

2026年 2月号 2月

空にいる大切なひとへ
メッセージが届きませんか？



3月11日(水)

主催 津波復興記念資料館 館上の記

追悼のつどい

～みんなのこと、わすれないよ～



プログラム

- 14:00～ 14:10 メッセージ風船受付
- 14:10～ セッショントーク
- 14:30 開式
- 14:40 黙とう
- 15:00 メッセージ風船を空に届ける

宮城県名取市関上東3丁目5-1

どなたでも参加可。参加無料。服装自由
当日参加が難しいけれどメッセージを書きたい方は事
前に受付ができます。費用もご負担ください。

風船おひとつ200円 事前に届けてくださるようお願いいたします

memoire.de.yuriage@gmail.com

ホームページアドレス usagi-bunko.com

ぜひメッセージをお願いします。3月11日にこの風船を関上に届けます。

うさぎ文庫の電話番号 924-7234(南川自宅 FAX共)

空にいるあなたへ届けたい 忘れないから



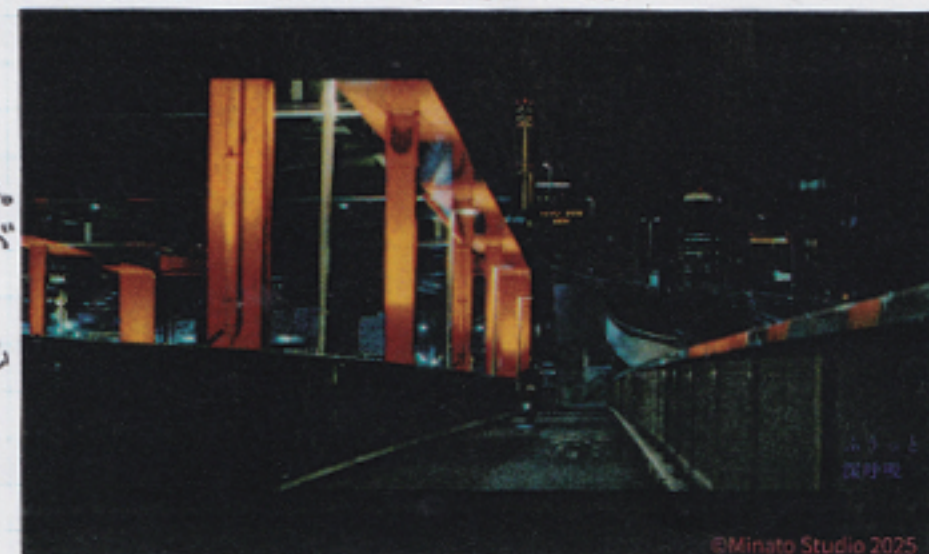
昨年の1月に神戸で上映
されていたのも観ましたか？
その時に理解できなかった
場面が今回は何となく
深く感じ入るものがありました。
一度では感じられなかったものが
ありますよね。

うさぎ文庫で子どもたちと読み
絵本も一度では気付けな
かった思いが、何度も読み
続けていくことで心に深く
刻まれていくことをいつも
感じています。

今年たくさんのお話に出会いました。
そして一緒に楽しめよう。
新しいものに出会ったとき、
そして困難に立ち向かう
ときにきっとそれを乗り越
える力が育まれると思っ
ています。

「港に灯がともる」の
パンフレットも購入しました。
物語や制作について
詳しく掲載されています。
興味のある方は南川まで
声をかけてください。

神戸を舞台に そこに生きる人が ちゃんと描かれた映画



映画上映
13:00～
トークショー
15:10～

1995年1月17日。大震災の翌月に生まれた
主人公・灯(あかり)
なぜこの家族のもとに生まれてきたのか。
家族とわたし。国とわたし。
わたしはいつかどうしたいのだろう。

●安成洋 (プロデューサー)

「心の傷を癒すということ」原作者・安成洋の実弟。「心の傷を癒すということ」劇場版
とのかかわりをつかぎに「心のケア」をテーマとした映画として、震災30年の節目に
「港に灯がともる」を製作。

●井出 隆 (精神科医)

神戸大学医学部附属病院、精神神経科などを経て、平成5年から神戸市児童相談所で長
年、子どもたちのケアに関わる。現在、社会福祉法人神戸いのちの電話理事長を務める。

「いのちの電話」は
孤独の中で苦しみ、こころの支えを失った人々と
電話を通じて共にありたい。より人間として支えたい
との願いから始まった市民活動です。

〔新着図書のお知らせ〕

金本のりたけ作

大ピンチずかん2: 乗り越えろ!
大ピンチずかん3: ピンチは
こわくない!

3月の閉室日: 6日 27日(第一・四金曜日)

